回 答 書

受付番号	回収年月日	回収場所	担当主管課
第15号	令和6年6月6日	伊予市役所	総務部 総務課
題 目(テーマ):梅雨の大雨と真夏の猛暑がやってくる備えについて			
提 案 理 由(要旨)			
<p>気象研究の専門家教授曰く、加速する温暖化の影響でアナザーワールドな天気になると言われている。「降るときは豪雨、降らないときは猛暑となる」気象庁の3か月予報では、6月～8月にかけて全国的に気温は高め、7月の降水量は、西日本と東日本太平洋側で平年並みか高め予想です。また、今年の梅雨も極端な現象に注意が必要で、雨が降るときは豪雨になり、降らないときは梅雨にかかわらず猛暑になる可能性があります。豪雨になりやすいのは九州をはじめとする西日本ですが、東日本や近畿の日本海側など、ふだん雨の少ない地域も豪雨の恐れがあります。この異常気象の原因として、教授が指摘するのが海水温分布の異常な高さです。「5月25日現在、三陸沖では平年より6度以上高い」日本周辺の海はアツアツ！海水温分布の記録的な高さです。これは2023年夏の記録的な猛暑によって海が温まり、更に今年の記録的暖冬によって海が冷えきらずに熱が蓄積され続けているからです。</p> <p>以上の理由により、梅雨時の大雨対策と熱中症対策をご検討願います。伊予市広報6月号記載ページ14のとおり「防災のあれこれ・・・」に記載し、注意喚起を働きかけてください。</p>			
回 答 内 容			
<p>この度は貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>「広報いよし」では、大雨の危険性が高まる梅雨時期を前に、令和6年5月号で「防災のあれこれ大雨編」、また同年6月号で「防災のあれこれ土砂災害編」を掲載し、大雨時の備えや注意点、土砂災害の前兆現象について周知啓発を図っています。</p> <p>熱中症対策については、近年、熱中症による健康被害が数多く報告されており、気温の高い日が続くこれからの時期に備えるため、同年7月号で、予防行動や応急措置、令和6年4月から新たに追加された「熱中症特別警戒アラート」などを掲載し、周知啓発を図ることとしています。</p> <p>「広報いよし」では、今後も、市民の皆さまの安心安全な暮らしに必要な情報を適切なタイミングでお知らせするよう努めてまいります。</p>			